

## 柴田小学校から川前小学校への質問と回答

質問内容	回答
<p>①大変立派な年間指導計画が作成されています。本校では、これから年間計画を作成していくところですが、各教科と総合的な学習の時間確保のご苦労はありませんか？</p>	<p>里山に関する学習については3・4年生の総合的な学習の中での取組となるので字数確保についての問題は特段ありません。4年生の総合的な学習の時間は、「環境」～守りたい自然とこれからの環境を考える～という大きなテーマの下、身近な里山の自然を学習の教材として「地球環境を理解する」と「地域によさに気付いて、自分のできることを行う」という学習内容になっています。地域の身近な教材としての里山を学習のきっかけやまとめて活用し、土や動植物の視点から自然環境を考えていきます。総合の学習の中では時数の問題はありますが、理科の学習との関連や学んだことを今後どのように活かしていくかという点についてなど、他教科・領域との関連となるとさらに工夫する余地があると考えています。</p>
<p>②学校の森まで、30分程度歩いて行き、活動しているようですが、普段の森の管理や作物の世話など、どのようにされているのでしょうか？</p>	<p>学校林や蒲沢山の管理は児童の手では行っていません。今年度、そういった活動もできないかと検討もいたしましたが、ダニの危険や安全管理の点での問題があり、引き続き来年度以降の課題となりました。管理は地域のボランティア団体の「里山ねっと赤坂」さんが、会費や、助成金、寄付などを使って日々行っています。</p>
<p>③通常の授業の他に、夏休みの自由参加講座やPTA行事などで、実践されているようですが、地域やPTAの方々との連携について、詳しく教えてください。</p>	<p>夏休みの自由参加型学習「サマースクール」は学校が夏休みの学習講座として行っています。どのような講座を開くかは毎年検討しています。「里山木工作教室」は「里山ねっと赤坂」さんのご協力で毎年行っています。ボランティアの方々が里山から集めた豊富な木の実や枝などを提供してくださり、児童からの人気が高く、いつも定員を超えた申し込みがあります。また、PTAとの連携では、秋の授業参観後の「川前フェスタ」という自由参加のPTA行事の中で「里山クラフト」のコーナーを設けています。連絡調整や予算に関してはPTAが行っています。児童が里山歩きやクラフト体験の感想などを家庭で伝えることにより、保護者が里山に興味を持ち、「里山ねっと赤坂」さんの地域住民対象の講座に保護者が参加するというよい影響が見られます。</p>